

2023年3月期 第2四半期決算説明会

2022年11月11日
シダックス株式会社
(東証スタンダード：4837)

A red decorative graphic consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the slide.

シダックスグループ連結決算概要

上期決算ハイライト

引き続き大きく増益を達成

コロナ禍において過去最大の流行となった第7波や原材料価格高騰の影響を受けるなど、依然として厳しい経営環境の中、これまで実施してきた経営改革の成果が表れ、売上高は増収も前期並みとなりましたが、利益面は引き続き大きく増益を達成

中期経営計画初年度、上期は計画通りに着地

当期を初年度とする3カ年の中期経営計画（Re-Growth 2025）がスタートし、初年度計画（業績予想）に対して、事業部門により多少の上振れ/下振れが見られたものの、全体として順調に推移し、上期は計画通りに着地（利益面は若干の上振れ）

新規契約の受注も順調な立ち上がり

年間計画に占める上半期の割合は小さいものの、クロスセルの効果や営業開発の強化を図ったことにより、新規契約の受注は順調な立ち上がりを見せ、3コア事業全てで前年同期比20%以上のプラスで進捗

連結決算概要

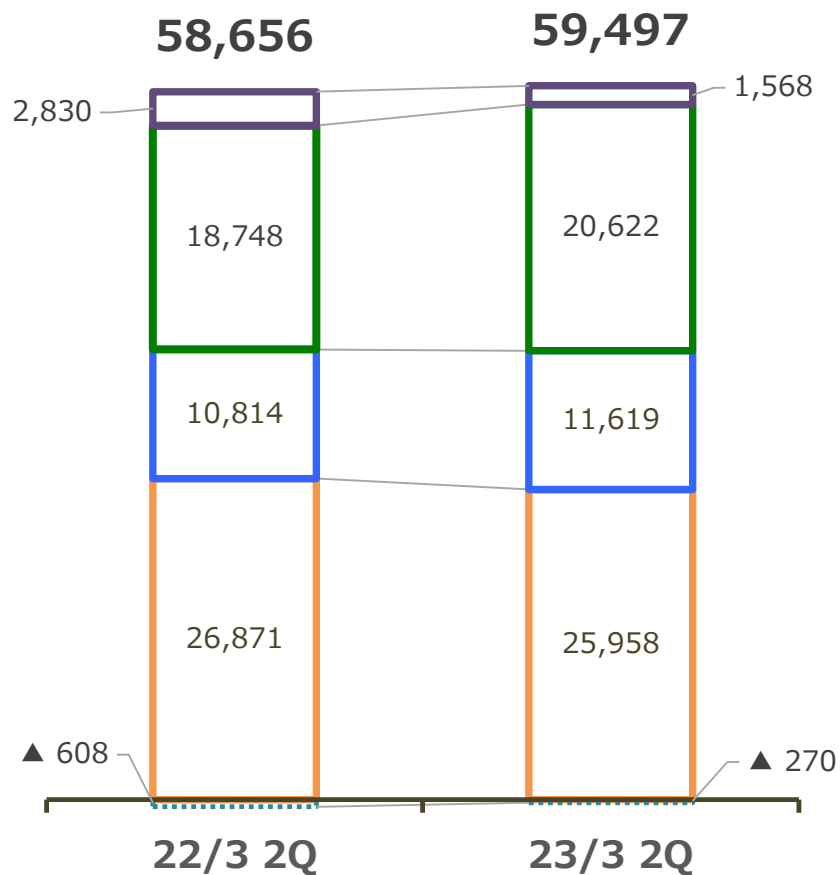
(百万円)	22/3 2Q	23/3 2Q	前期比	増減	要因
売上高	58,656	59,497	101.4%	+ 841	社会サービス +1,874、車両運行サービス +804 その他 ▲1,262 (BtoC事業の撤退等)
売上総利益	7,577	8,374	110.5%	+ 796	[原価率] 前期：87.1% 当期：85.9% → 1.2pt 改善
販管費	6,095	5,991	98.3%	▲103	
営業利益	1,482	2,383	160.7%	+ 900	社会サービス +467、その他 +271 (BtoC事業の撤退等) フードサービス ▲251
営業外収益	197	192	97.5%	▲4	
営業外費用	152	437	287.5%	+ 285	シローン手数料等の雑損失 196
経常利益	1,528	2,138	139.9%	+ 610	
特別利益	125	230	183.0%	+ 104	固定資産売却益 59
特別損失	122	55	45.4%	▲66	
税前利益	1,531	2,313	151.0%	+ 781	
法人税等	232	408	175.4%	+ 175	繰越欠損金あり
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,299	1,905	146.7%	+ 606	

売上高・営業利益 前期比較

■売上高

- ・引き続き「社会サービス」が伸長し、841百万円の増収
- ・「その他」の減収は、BtoC事業の撤退によるもの

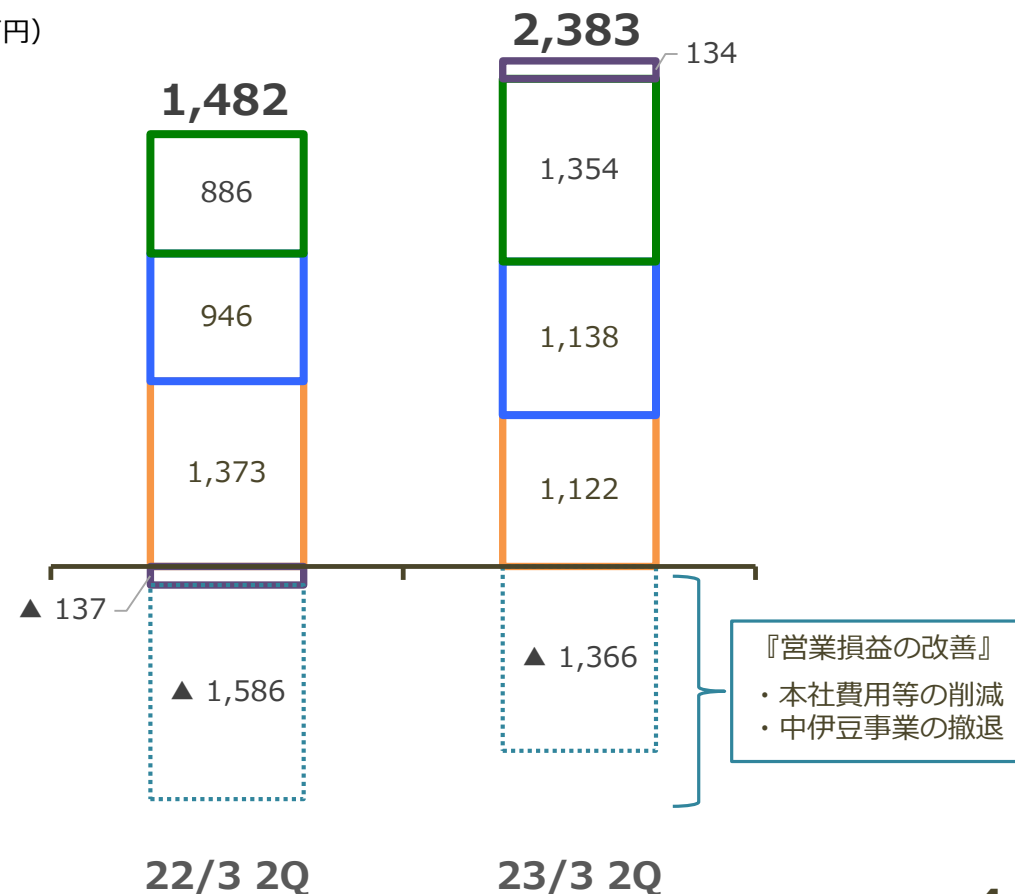
(百万円)



■営業利益

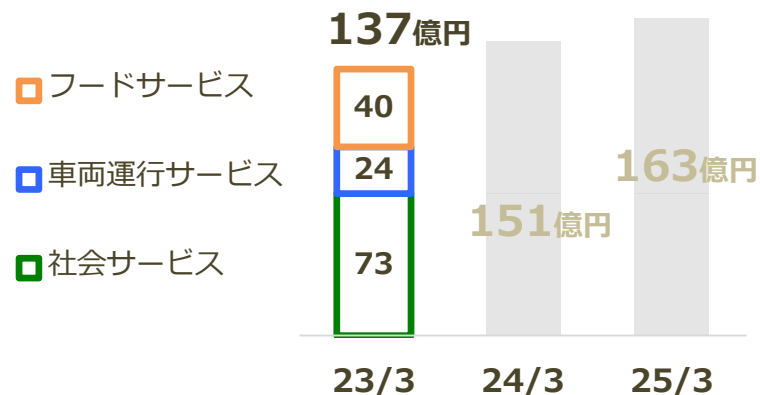
- ・第7波の影響を受けた「フードサービス」を「車両運行サービス」および「社会サービス」でカバーし、900百万円の増益
- ・営業利益率 2.5% → 4.0%

(百万円)



新規契約の受注状況

■ 年度受注計画



上期：営業体制の構築など戦略的な準備に注力

下期：年度受注計画「137億円」に向けて、本格的な営業活動をスタート

500種におよぶ受託業務のノウハウ等、当社グループの強みを活かした営業開発や事業間クロスセルを一層強化し、中期経営計画の「礎」となる受注計画達成を目指します

■ 上期進捗は、各事業において前期を大きく上回るペースで受注獲得

セグメント	受注比較	前期比	上期の状況
<u>フードサービス</u>	売上高	122%	・ コントラクト部門は順調なスタートも、メディカル部門がやや弱含み → 営業部門における組織改革と営業開発力の徹底強化
<u>車両運行サービス</u>	車両台数	128%	・ 期中増車の受注が好調に推移するなど計画通り → 営業専任者の設置やウェブプロモーション等による新規営業の拡大
<u>社会サービス</u>	売上高	137%	・ 社会サービス部門の図書館事業が大幅増加、学校給食事業も堅調に推移 → ターゲットを設定したローラー営業、継続訪問による機会創出

※例年受注は、自治体の入札など大半が下期となるため、上期の割合は小さく下期偏重となります

オイシックス社によるTOB結果

■ TOBが成立し、オイシックス社が当社の筆頭株主に（議決権割合28.47%）

オイシックス社 TOB開始（8/30）

- 当社株式の取得に関するお知らせ（6/29）
- 当社株式に対する公開買付けの公表（8/29）

当社 意見表明

- 反対（9/5）
フードサービス関連事業の協業に係る公正な検討がなされていない等
- 中立（10/7）
特別委員会の設置で合意

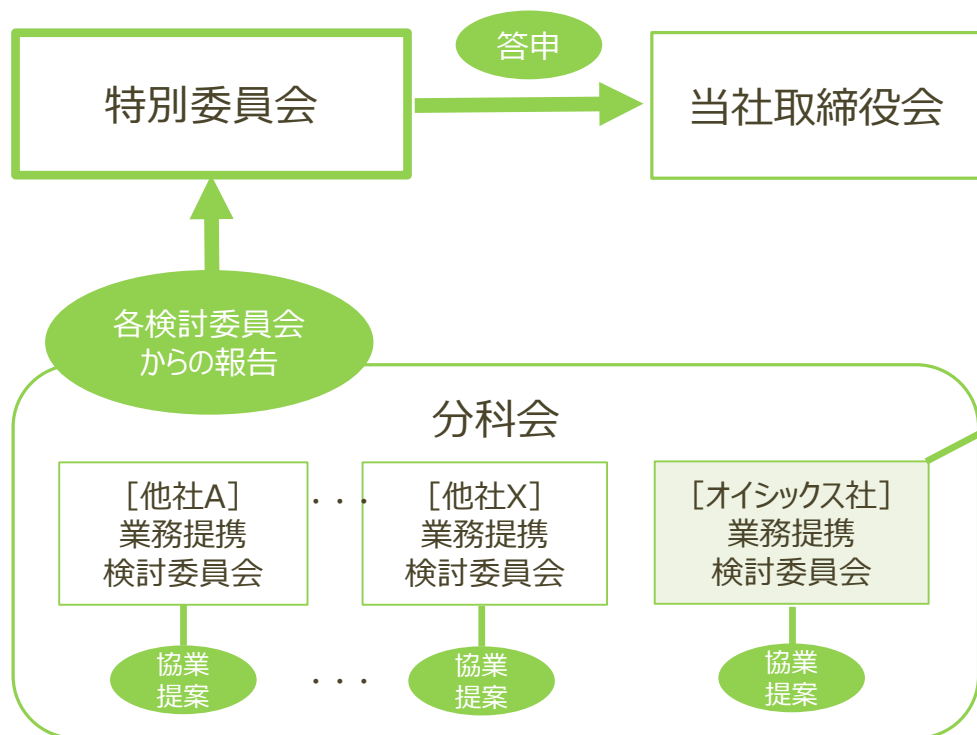
TOB成立 （10/24）

- ユニゾンキャピタル社
全保有株式の応募
- その他株主からの応募
応募合計 15,582,759株

フードサービス関連事業の協業検討に向けて

■ フード関連事業の協業に係わる公正な検討の枠組みとして「特別委員会」を近日設置予定

- ・ フード関連事業の協業の公正な検討のために、独立した協議体として設置する「特別委員会」において、同種案件で標準的な内容の検討プロセスでオイシックス社以外との協業の可能性も広く検討いたします
- ・ 並行して、特別委員会の分科会として設置予定のオイシックス社との「業務提携検討委員会」において、同社との資本異動を伴わない協業も積極的に検討いたします



Oisix ra daichi **SHIDAX**

特別委員会の設置に併せて、オイシックス社との資本異動を伴わない協業については「業務提携検討委員会」で、特に以下のテーマについて協議していく予定

- ◆ 給食現場の生産性向上・高付加価値の創出
- ◆ サステナブル領域での付加価値強化
- ◆ 食材の共同調達・配送
- ◆ BtoBtoC領域への展開

連結業績予想および配当予想

■ 2022年5月16日公表の連結業績予想および配当予想から変更なし

継続する原材料価格の高騰等の影響に加え、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ同時流行への懸念など、今後の不透明な事業環境を考慮し、通期予想は据え置きとしました

(百万円)	22/3 実績	23/3 上期実績	23/3 通期予想	前期比	増減
売上高	115,525	59,497	120,000	103.9%	+4,474
営業利益	2,442	2,383	3,700	151.5%	+1,257
経常利益	2,292	2,138	3,200	139.6%	+907
親会社株主に帰属する 当期純利益 ※	4,089	1,905	2,200	53.8%	▲1,889
1株あたり配当金 (円)	5	—	10	200.0%	+5

※当期純利益：減益予想としておりますが、前期の資産売却による特別利益3,408百万円の計上が要因です

A red decorative graphic consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the slide.

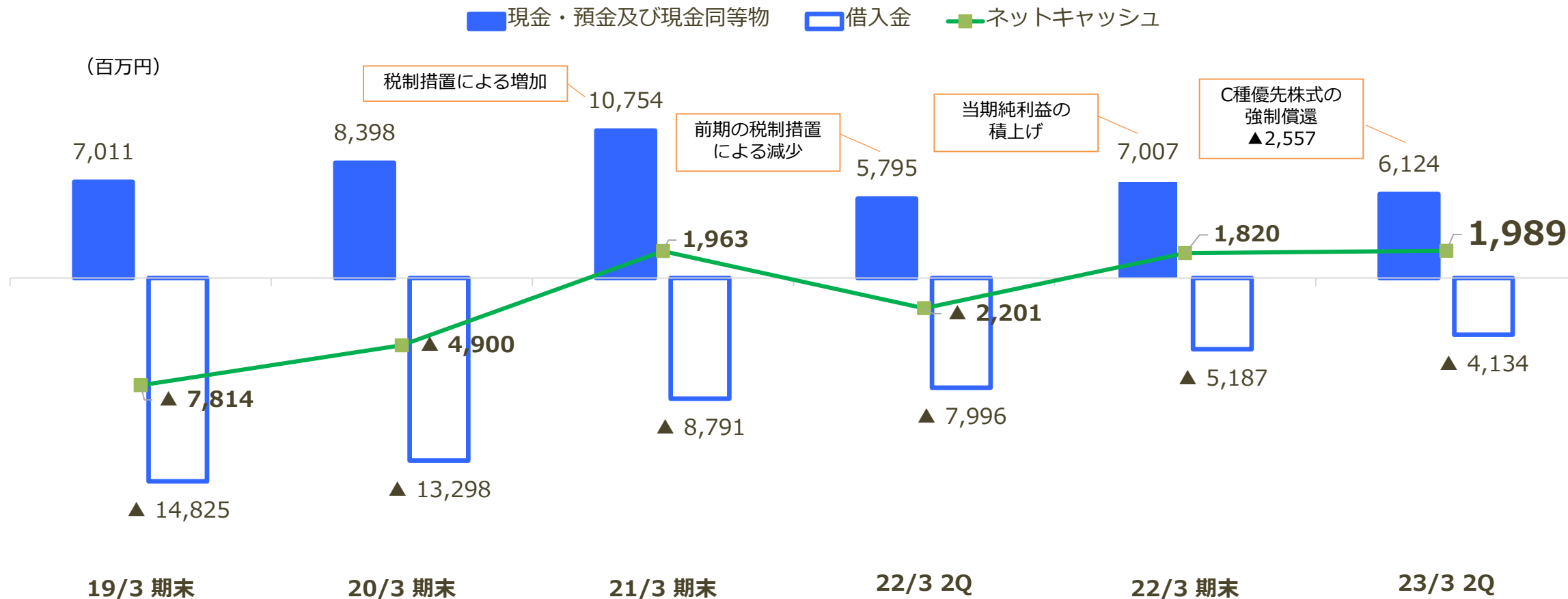
財務状況

B/Sサマリ

(百万円)	22/3 期末	23/3 2Q	増減
資産	33,159	30,909	▲2,250
負債	21,787	20,523	▲1,263
純資産	11,371	10,385	▲986
有利子負債残高	5,187	4,134	▲1,053
ネット有利子負債	▲1,820	▲1,989	▲169
D/Eレシオ (倍)	0.46	0.40	▲0.06
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.16	▲0.19	▲0.03
現金及び現金同等物残高	7,007	6,124	▲883
自己資本比率 (%)	34.3	33.6	▲0.7pt

B種およびC種優先株式を消却

キャッシュポジション



リファイナンスを実施、より安定したキャッシュポジションに

A red decorative graphic consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the slide.

事業セグメント決算概要

事業セグメント 決算サマリ

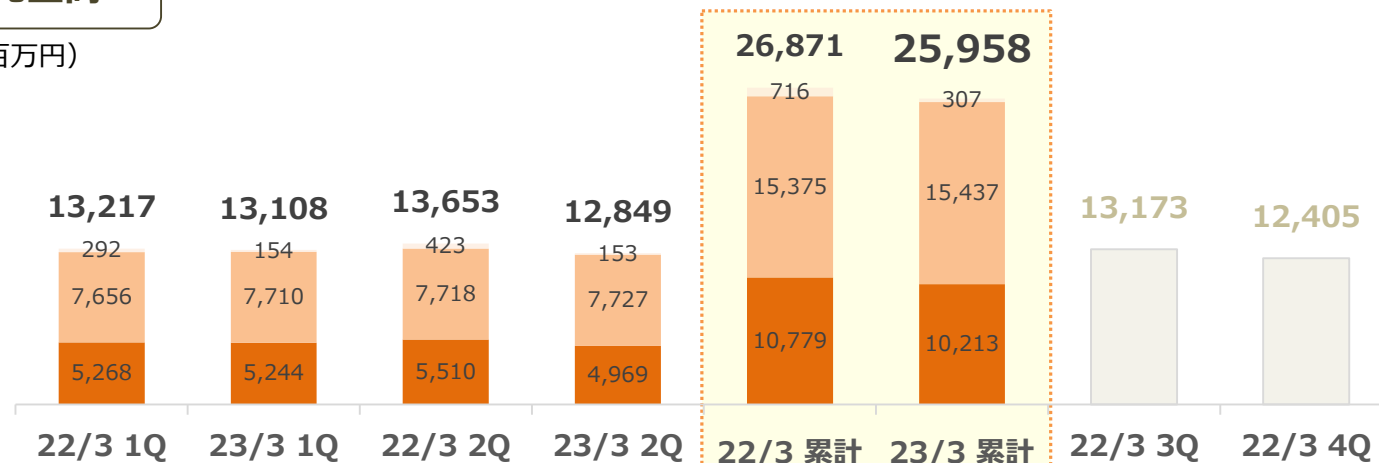
セグメント	(百万円)	22/3 2Q	23/3 2Q	前期比	増減
フードサービス	売上高	26,871	25,958	96.6%	▲913
	営業利益	1,373	1,122	81.7%	▲251
車両運行サービス	売上高	10,814	11,619	107.4%	+804
	営業利益	946	1,138	120.3%	+191
社会サービス	売上高	18,748	20,622	110.0%	+1,874
	営業利益	886	1,354	152.8%	+467
その他	売上高	2,830	1,568	55.4%	▲1,262
	営業利益	▲137	134	—	+271
消去・全社費用	売上高	▲608	▲270	—	+337
	営業利益	▲1,586	▲1,366	—	+220
連結計	売上高	58,656	59,497	101.4%	+841
	営業利益	1,482	2,383	160.7%	+900

フードサービス事業

売上高

(百万円)

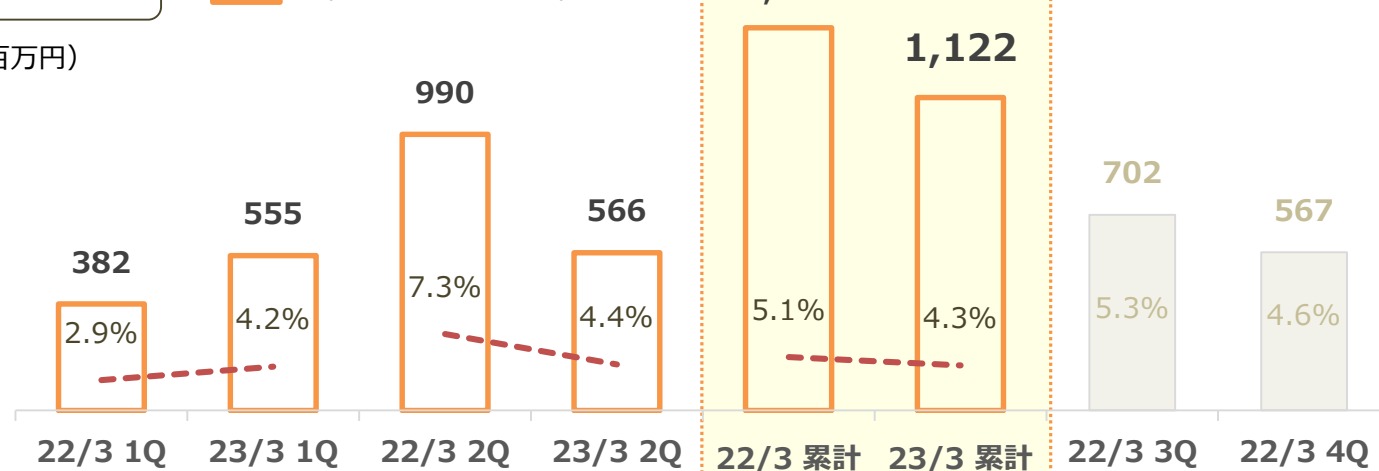
■ コントラクト ■ メディカル ■ その他



営業利益

(百万円)

□ 営業利益 - - - 営業利益率



売上高 : **913百万円の減収** (前期比 96.6%)

営業利益 : **251百万円の減益** (前期比 81.7%)

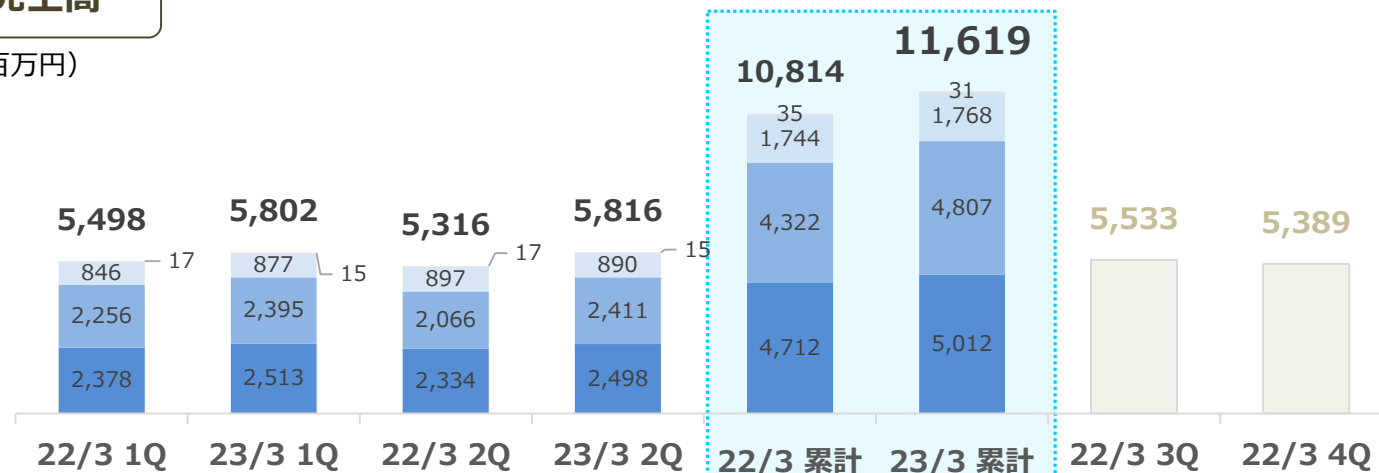
- (+) 期末より運営店舗数36店舗の増加
- (+) コロナ禍における運営ノウハウの習得によるコストコントロールが奏功
- (+) 赤字店舗撤退による効果
- (-) 第7波の影響 (病床減少による売上減および施設運営に係る労務コストの悪化)
- (-) 原材料価格の高騰
- (-) 前期2Qスポットイベント需要の剥落

車両運行サービス事業

売上高

(百万円)

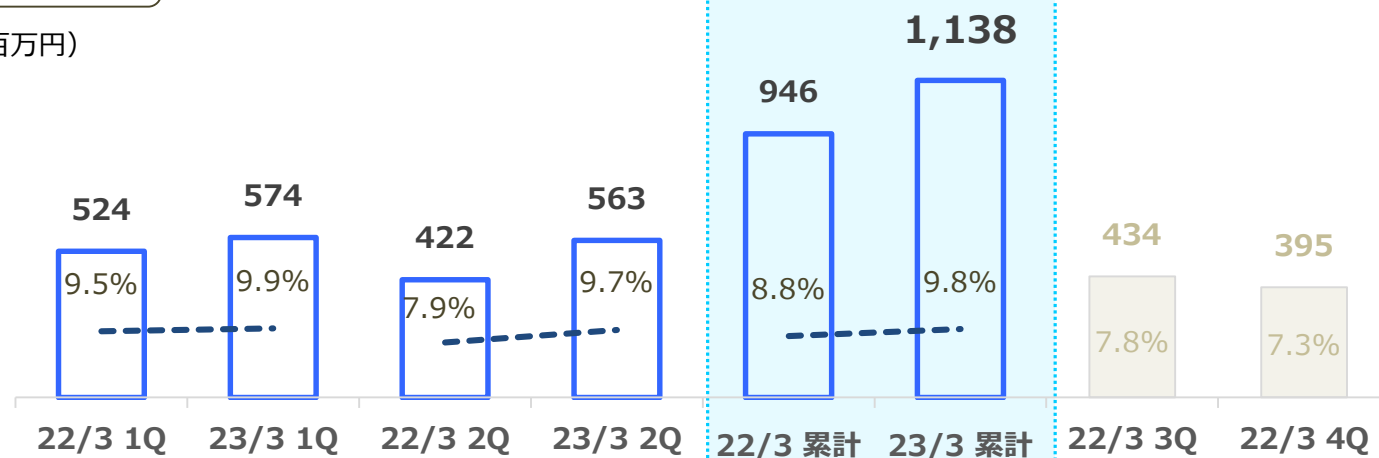
■ 役員車両 ■ 一般車両 ■ 旅客運送 ■ その他



営業利益

(百万円)

■ 営業利益 --- 営業利益率



売上高 : **804百万円の増収** (前期比 107.4%)

営業利益 : **191百万円の増益** (前期比 120.3%)

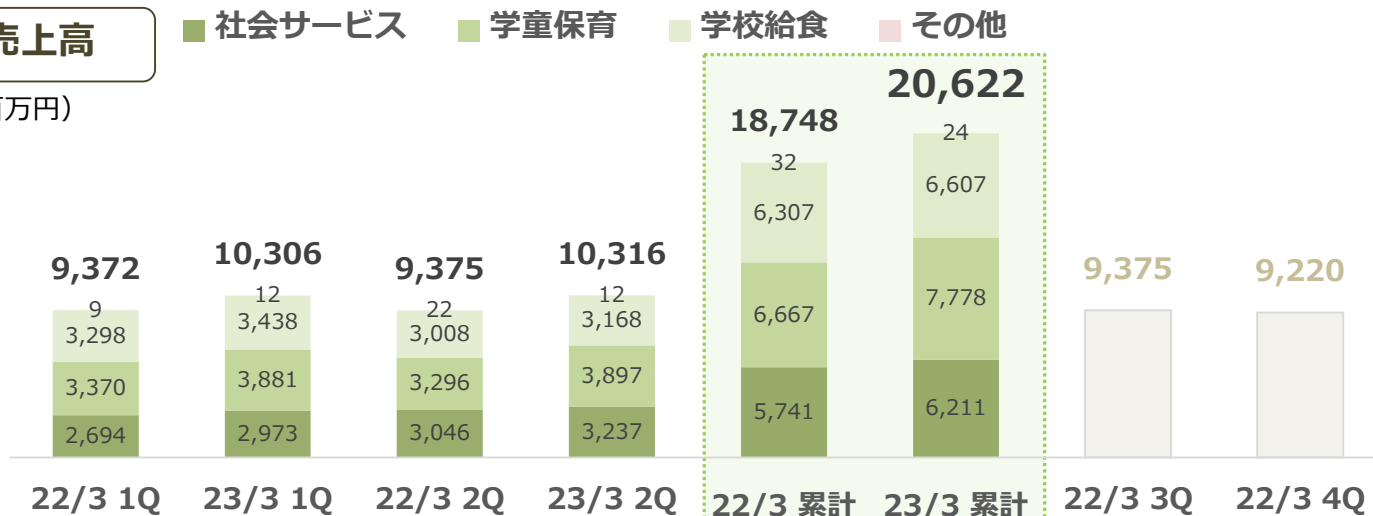
- (+) 期首からの新規獲得台数の増加
- (+) 役員車両の時間外運行、休日運行の回復
- (+) その他売上 (時間外運行、休日運行) の回復による収益性の改善

- (-) 貸切バス需要の低迷
- (-) 燃料価格高騰の影響

社会サービス事業

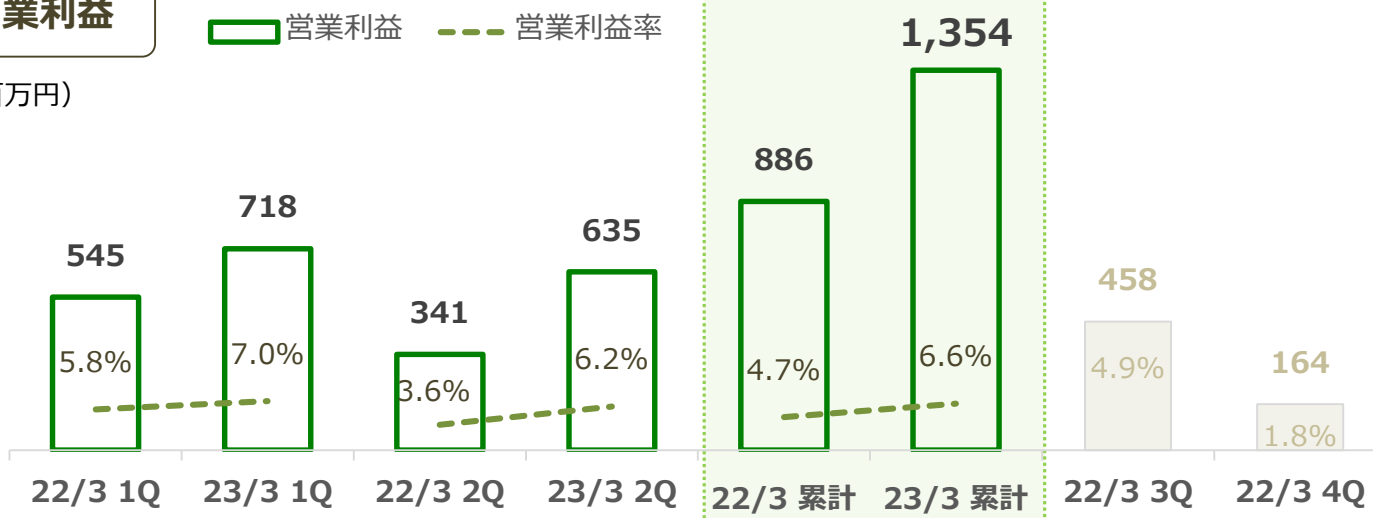
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



売上高 : **1,874百万円の増収** (前期比 110.0%)

営業利益 : **467百万円の増益** (前期比 152.8%)

- (+) 図書館等の施設管理数の増加
- (+) 期末より学童保育194箇所の増加
- (+) コロナ関連業務の新規受注
- (+) 観光・レジャー需要の回復
- (+) 受託施設の増加による増益効果
- (-) 最低賃金の改定、インフレの影響

参考データ集

2022年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コト外店舗数	増加		12	2	3	2	0	2	21	2	2	3	4	0	0	32
	減少		2	3	5	6	4	7	27	2	5	5	3	12	26	80
	計	1,104	1,114	1,113	1,111	1,107	1,103	1,098	1,098	1,098	1,095	1,093	1,094	1,082	1,056	1,056
フードサービス事業 メディカル店舗数	増加		33	2	0	7	0	1	43	3	2	0	3	2	4	57
	減少		0	0	2	1	1	2	6	0	2	1	4	5	21	39
	計	720	753	755	753	759	758	757	757	760	760	759	758	755	738	738
車両運行サービス事業 管理台数	増加		158	19	13	21	11	24	246	13	17	12	0	3	7	298
	減少		136	39	9	16	15	11	226	13	5	7	7	7	0	265
	計	3,590	3,612	3,592	3,596	3,601	3,597	3,610	3,610	3,610	3,622	3,627	3,620	3,616	3,623	3,623
社会サービス事業 管理人員	増加		895	665	740	399	494	458	3,651	148	153	50	393	174	1,327	5,896
	減少		248	209	225	203	274	385	1,544	270	254	186	303	183	1,223	3,963
	計	15,731	16,378	16,834	17,349	17,545	17,765	17,838	17,838	17,716	17,615	17,479	17,569	17,560	17,664	17,664

2023年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コト外店舗数	増加		13	1	3	4	2	4	27							27
	減少		8	2	1	5	7	1	24							24
	計	1,056	1,061	1,060	1,062	1,061	1,056	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059
フードサービス事業 メディカル店舗数	増加		31	1	0	1	2	2	37							37
	減少		0	2	1	0	0	1	4							4
	計	738	769	768	767	768	770	771	771	771	771	771	771	771	771	771
車両運行サービス事業 管理台数	増加		309	17	23	17	23	13	402							402
	減少		237	9	8	8	8	2	272							272
	計	3,623	3,695	3,703	3,718	3,727	3,742	3,753	3,753	3,753	3,753	3,753	3,753	3,753	3,753	3,753
社会サービス事業 管理人員	増加		939	351	333	983	743	337	3,686							3,686
	減少		222	275	234	262	336	338	1,667							1,667
	計	17,664	18,381	18,457	18,556	19,277	19,684	19,683	19,683	19,683	19,683	19,683	19,683	19,683	19,683	19,683

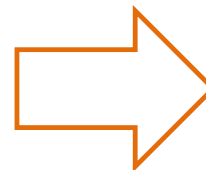
A red decorative graphic consisting of a curved, flame-like shape on the left side of the page.

APPENDIX 「ESG・SDGs 推進活動」

ESG・SDGs 推進活動

17の開発目標

企業が追求すべき社会性は、SDGsとして17の開発目標が示されていますが、当社の事業領域は社会性が高い上に、多くの社員・顧客・パートナー企業を抱える企業形態のため、他社と比べても能動的に取り組める目標が多くあります。



取り組み実績のご紹介①

～ フードサービス事業 ～

さまざまな食材や料理に接することは、生活に刺激や潤いをもたらすことにもつながります。新型コロナウイルスの流行以降、国内外の移動もしづらくなっている昨今では、その楽しみも従来よりも高まっています。上期においても、さまざまなフェアメニューを展開しました。5月には、本土復帰50周年を記念した「沖縄メニューフェア」として「ふーちゃんぷるー」などの提供や「全国郷土料理うまいもの紀行 中国地方編」として、広島「汁なし担々麺」などを提供しました。



沖縄メニューフェア



全国郷土料理うまいもの紀行
中国地方編

～ フードサービス事業 ～

給食企業として初めて、厚労省の「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」に参画しました。この取り組みは、「食塩の過剰摂取」、「若年女性のやせ」、「経済格差に伴う栄養格差」等の栄養課題や環境課題を重大な社会課題として捉え、産学官等が連携して、誰もが自然に健康になれる食環境づくりを展開するものです。給食を受託する社員食堂や学生食堂などを通じて、多くの消費者と接点がある事業を行っているため、この度参画することとなりました。



健康情報サイト
インフォメーションポスター



減塩を呼びかけるポスター

取り組み実績のご紹介②

～ 車両運行サービス事業 ～

車両運行サービス部門では、これまでも君津市においてスクールバスやコミュニティバスの運行を受託していました。8月からは、日中のスクールバス車両の空き時間を活用し、デマンドバスの併用実証実験を行っています。

これからも、自治体と協力し、交通弱者を減らす取り組みに積極的に取り組んでまいります。



スクールバス・デマンドバス
併用実証実験 出発式典の様子



スクールバス・デマンドバス
併用実証実験 運行時の様子

～ 社会サービス事業 ～

当社グループは、公設民営の学童保育の受託件数でトップシェアを誇ります。受託運営を行う学童保育部門では、児童をお預かりする時間が長くなる夏休み期間向けに、今年もさまざまなイベントをご用意しました。

当社オリジナルの謎解きコンテンツの提供、科学系YouTuberとコラボした夏休み自由研究用の動画上映、JTB社と協業したオンラインのサファリ体験などは児童たちにも好評でした。



オリジナルの謎解きコンテンツ
「ミスターXからの挑戦状」動画



アフリカ・ナイロビ国立公園
「サファリ体験」動画

取り組み実績のご紹介③

～ 社会サービス事業 ～

学校給食部門では、2022年9月1日に岡山県玉野市に新たにオープンした「玉野市立学校給食センター」の受託運営を開始しました。

一般的に、給食センターにおける給食提供は、それぞれの小中学校で調理を行う“自学式”に比べ水やエネルギーの消費効率や人材募集の観点などにおいて優位性が高いとされています。



玉野市立学校給食センター



センター内 天吊式消毒装置

～ 自治体とともに取り組む「社会課題解決」の動画を公開～

当社グループは、SDGsという言葉が世に出る以前から「社会課題解決型企業」を標榜してまいりました。当社のSDGsの一端を紹介すべく、2022年9月には、2本の事例動画を公開しました。

①和歌山県白浜町において、さまざまな行政サービスを包括受託させていただき、自治体の財政再建とサービス向上を図っていく事例

②岐阜県白川町において、スクールバス、デマンドバスなどを運行し、地域の交通インフラを支える事例



Q.シダックスに業務を委託した背景

町営浴場や複数の公園施設、テニスコートなど

①和歌山県白浜町 事例動画
<https://youtu.be/OYgRriMcfV0>



Q.デマンドバスのサービス内容は

30分とか1時間かかるような場所もあるので

②岐阜県白川町 事例動画
<https://youtu.be/hmyl-6Zdg0Q>

免責事項

- 本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、シダックスグループの財務情報および経営情報の提供を目的としたもので、当社が発行する株式の購入、売却および投資アドバイスを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任、判断のもとになされますようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている事項には、当社に関する将来予測や業績予測が記述されていますが、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に掲載されている事項または、本資料を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。また、予告なしに情報の掲載中止や変更を行うことがあります。

SHIDAX 

未来の子供たちのために